

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(令和 5 年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)
年間 (4月～3月)

施設名	開戸センター	指定管理者	医療法人財団 暁
指定期間	令和 5 年 4 月 1 日から 令和 10 年 3 月 31 日まで	担当課	高齢者支援課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類		年間計画（A）	実績（B） （モニタリング時）	対計画比率 （B/A×100）
業務の 遂行状況	開館日数（日）		272	139	51.1%
	延べ利用者数（人）		3,304	1,710	51.8%
	事業開催 回数	必須事業（回）	241	124	51.5%
		自主事業（回）	500	297	59.4%
収支状況	収入	指定管理料（円）	14,668,000	7,334,000	50.0%
		利用料金収入(売上)（円）	2,808,400	1,453,500	51.8%
		自主事業収入（円）	1,650,000	1,196,420	72.5%
		その他の収入（円）	0	0	0%
	収入計（円）…①		19,126,400	9,983,920	52.2%
	支出	人件費（円）	12,105,000	6,107,732	50.5%
		維持管理経費（円）	5,378,000	2,923,616	54.4%
		自主事業関係経費（円）	353,000	230,849	65.4%
		その他の支出（円）	0	0	0%
	支出計（円）…②		17,836,000	9,262,197	51.9%
	収支（①－②）（円）…③		1,290,400	721,723	55.9%
	諸経費（本社運営費など）…④		0	0	0%
	総収支（③－④）（円）		1,290,400	721,723	55.9%

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

【開館日数・利用者数について】 開館日数については、計画どおり開館しました。 利用者数については、計画値の過半数を越えました。	【事業の実施状況について】 必須事業については、コロナが5類に移行したことで以前の事業内容に戻り、3センター合同活動を楽しみました。 自主事業については、外出による欠席も見られましたが、要望に対応した事業展開ができました。	【収支状況について】 必須事業、自主事業の総収支状況については、計画値の半数を越えて順調に増加しました。 下半期も収支のバランスの適正化に努めます。
--	--	---

所管課の評価 (指摘事項)

【開館日数・利用者数について】 計画どおりに開館し、利用者数も上半期で計画値の過半数を超えていることは評価できます。引き続き、利用者の増加に努めてください。	【事業の実施状況について】 必須事業については、コロナ前と同様の活動ができたことは評価できます。 自主事業については、引き続き利用者のニーズに応えた事業展開に取り組んでください。	【収支状況について】 必須事業、自主事業ともに上半期で計画値の半数を超えた収益があることは評価できます。引き続き、経費の節減や利用者の増加に努めてください。
--	--	--

2 チェック項目

評価項目・評価事項 (数値目標)	確認資料等	指定管理者の	所管課の評価
------------------	-------	--------	--------

			自己評価	
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている		日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている		日報、月報、申請書	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている		各種点検結果報告書、実地	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている		日報、月報、実地	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している		備品台帳、実地	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない		実地	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている		危機管理マニュアル	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている		実地	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している		保険証書	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている		ホームページ	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している		情報公開マニュアル	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている		日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している		利用者アンケート	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている		日報、月報、事業報告書	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている		日報、月報、事業報告書	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している		広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	5人	人員配置計画、実地、出勤簿	5人 適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	12回/年	研修マニュアル	実施回数 6回 適正・要改善
	障がい者や高齢者、地域住民の雇用促進に努めている	100%	人員配置計画	100% 適正・要改善
	労働法令の遵守やハラスメント対策など、労働環境への適切な配慮がなされている		実地、出勤簿、就業規則等	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている		個人情報保護マニュアル	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている		保存文書	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている		事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる		日報、月報、実地	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）
必須事業については、コロナが５類になったことで３センター合同での活動やボランティアの受け入れを再開し、利用者の交流に努めました。上半期を終え、介護申請される利用者の増加がみられました。下半期に向けて毎日行われる介護予防体操や脳トレ体操の強化や、事業内容の見直しも視野に入れていきます。また、利用者の方とのコミュニケーションも大切にしていきます。「センターに来ると元気になる」という利用者からの言葉を励みに職員一同、利用者に寄り添い、楽しいセンター作りを心掛けていきます。 自主事業については、イベント企画の「麻雀大会」・「げんき応援祭」も好評に終わり、多くの方から次の開催を望まれました。市民の皆様からの要望もあり、開戸センターでも「スマホ教室」を開催しました。自主事業の参加人数も年々増加傾向にあり、人気講座や新規講座も利用数が安定しています。下半期に向けてさらに皆様に要望にお応えし、一人でも多くの方に参加していただけるよう努めていきます。
所管課による所見（指摘事項など）
３センター合同でのイベント「げんき応援祭」を開催するなど、イベント内容に創意工夫がみられ、利用者間の交流やセンターでの活動を広くＰＲできたことは評価できます。介護申請される利用者の増加があったことを踏まえ、介護予防体操や脳トレ体操の強化するなど、状況に応じた対応を期待します。引き続き、介護予防の取組を強化し、地域の福祉拠点として利用者のニーズに沿った事業展開を心がけてください。